

自己評価シート 【駒場児童館】

1、福祉サービスの基本方針と組織

1-1 理念・基本方針

1-1-1 (1)	
理念、基本方針が明文化（児童館内の文書や広報媒体（パンフレット、ホームページ等）され周知が図られている。	
【判断基準】	
(a) 児童館の理念、基本方針が適切に明文化されており、職員、利用者等への周知が図られている。	
(b) 児童館の理念、基本方針が明文化されているが、内容や周知が十分ではない。	
(c) 児童館の理念、基本方針の明文化や職員、利用者等への周知がされていない。	
【自己評価】	実践例（取組や記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	児童館の理念、基本方針は子どもにもわかりやすい文章にして、館のパンフレットに掲載をしています。また、子ども会議実施の際には「目黒区子ども条例」を子どもにもわかりやすく周知していると共に子どもからでた意見を尊重し児童館運営に反映させています。
1-1-2 (2)	
理念、基本方針の確立・周知について	
良いと思う点	改善が必要だと思う点
事業を計画する際には、理念、方針をもとに目標を設定し、内容を決定しています。また、終了後には、理念、方針に沿っていたのか等に重点を置き、振り返りを実施し次年度の計画に反映しています。 子どもからでた意見については尊重し、児童館運営に反映できています。	児童福祉法、児童の権利に関する条約、目黒区子ども条例、そして児童館ガイドラインについては、職員一人ひとりが理解し、そのうえで利用者に分かりやすい形で、周知を図る必要があります。 また、利用者のニーズに見合っているのかを検証していく必要があります。

2、児童館の活動に関する事項

2-1 児童館の理念・目的及び施設特性

2-1-1 (1)	
児童館ガイドラインや目黒区児童館運営指針について、示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいる。	
【判断基準】	
(a) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいる。	
(b) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいるが、十分ではない。	

(c) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input type="checkbox"/> a)、 <input checked="" type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	児童館ガイドライン、や目黒区児童館運営指針について職場内研修として計画的に読み合わせる機会を設ける事で、一緒に共通理解ができるようにしている。
2-1-(2)	
児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の施設特性を發揮している。	
【判断基準】	
(a) 児童館の施設特性を發揮している。	
(b) 児童館の施設特性を發揮しているが、十分ではない。	
(c) 児童館の施設特性を發揮していない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	区内・区外を問わず、乳幼児親子から高校生までが、遊びたい時に来館し、自由に遊んだりくつろいだり、異年齢で関わりながら遊んでいます。職員はじっくりと関わり子どもたちの気持ちを満たすようにしています。 地域住民ボランティアとしてあみものクラブ事業のお手伝いをして頂く事で、日常的に利用者や児童館職員とも連携を行っています。
2-1-(3)	
子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	
【判断基準】	
(a) 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	
(b) -	
(c) 子どもの権利擁護に関する取組が十分ではない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	子どもの人権に配慮した対応として、子どもの性差や成長の個人差に配慮し、国籍や信仰などを理由に差別的な扱いをせず、どの子にも身体的にも精神的にも苦痛を与える事のないよう常に気を付けて関わっています。 また、遊戯室に『キラちゃんポスト』という、児童館への希望や要望を書くことができる意見箱を設置するとともに、日常の中で子どもと関わっている際にも今、何がやりたいのか、興味あるものは何かなど会話の中で聞き取り、実現できそうな案件については子ども企画として実現しています。 また、子ども会議の中でも自由に意見を言ってもらい、「目黒区子ども条例」を子どもたちがわかりやすいように説明を行い、併せてパンフレットなども配布しています。

2-1-(4) 児童館の理念・目的及び施設特性について	
良いと思う点	改善が必要だと思う点
「目黒区子ども条例」について、子どもたちに難しい言葉で話すのではなく、具体例を話し学年別のパンフレットを活用しながら、わかりやすいように説明を行っています。	各行事などで、振り返りを行う際には、「目黒区児童館運営指針」及び「児童館ガイドライン」を念頭におきながら、イベント企画毎に確認していく必要があります。

2-2 遊びによる子どもの育成

2-2-(1) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っている。	
【判断基準】 (a) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っている。 (b) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っているが、十分ではない。 (c) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解していない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> 「b）、 <input type="checkbox"/> c)	日々の朝会や昼会において、気になる子どもの姿があった場合は出し合い、複数の職員で多面的にみる事で、その子どもに合った対応を導き職員全員が同じ対応を取るようにしています。また、個々に発達も違えば、家庭環境も違うので一人ひとりの心身の状態に合わせて援助しています。
2-2-(2) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしている。	
【判断基準】 (a) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしている。 (b) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしているが、十分ではない。 (c) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしていない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	プレイルームでは30分毎に遊び替えをしながら、子ども達の中から進行役を募り、その子を中心にみんなで話し合い、できるだけ公平に遊びを決めるようにしています。図工室でも、自由に使える材料を豊富に用意し、子どもの発想を手助けできるよう、見本も用意しながら自分のアイディアも盛り込んで自由に作りたい物を作れるよう、材料や道具を整備しています。また、子どもたちから目につきやすい場所に「キラちゃん BOX」を設置し、自分の意見を言葉で

	<p>は言いにくい子やみんなの前では声を出せない子が意見を出しやすいように工夫するとともに、日ごろから子どもたちとの会話ややり取りを大切に、子ども会議に限らず、子どもたちから意見を聞くよう心掛けています。子ども会議で出た意見は、入口にあるホワイトボードに掲示して利用者が共有できるようにしながら、実現できるもの、できないものを職員間でも精査し、子どもたちにもフィードバックしながら、実現できるものは積極的に取り入れています。</p>
<p>2-2-(3) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助している。</p>	
<p>【判断基準】</p> <p>(a) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助している。</p> <p>(b) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助しているが、十分ではない。</p> <p>(c) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるような援助を行っていない。</p>	
<p>【自己評価】</p>	<p>実践例（取り組みや記録等）</p>
<p><input checked="" type="checkbox"/> a)、<input type="checkbox"/> b)、<input type="checkbox"/> c)</p>	<p>職員は、子ども同士での誘い合いを促したり、遊びの中で子ども同士をつないだりすることで、関係が築けるよう意図的に援助をしています。その結果、プレイルームで遊ぶ際には、「一緒にプレイルームで遊ばない？」と年齢関係なく誘い合い自然と自発的に楽しんで遊ぶ姿があったり、遊戯室でゲームをして遊ぶ際にも、ルールがわからない子に対して教えてあげている姿があったりします。</p> <p>行事活動を通して、異年齢で関り高学年がリードしながら自分たちで一つの物を作り上げる事が出来ています。</p>
<p>2-2-(4) 遊びによる子どもの育成について</p>	
<p>良いと思う点</p>	<p>改善が必要だと思う点</p>
<p>子どもたちからでた「やりたい」気持ちを尊重しながら、やりたいものを実現できるよう職員は援助しています。また、実現することで満足感や達成感を感じてもらえるようにしています。</p>	<p>児童館運営を行うにあたり、職員一人ひとりが問題意識をもちながら、きめ細やかな対応を行うとともに、引き続き情報を共有し課題を整理して解決していきます。</p>

2-3 児童館の安全管理

2-3-(1)	
緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	
【判断基準】	
<p>(a) 利用者の安全確保のために、体制が整備され機能している。</p> <p>(b) 利用者の安全確保のために、体制が整備されているが、十分に機能していない。</p> <p>(c) 利用者の安全確保のために、体制が整備されていない。</p>	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	<p>毎月 1 回、「災害時初期対応マニュアル」に基づき実施する避難訓練では、地震・火事・防犯と、様々な状況、いろいろな曜日、職員体制を想定して実施している。更に、警察の指導も仰いだり、利用者に予告せずに実施する事で緊急時に備えた訓練をしたりしています。</p> <p>また、毎月、15日に「災害伝言ダイヤル171」と「安心でんしょばと」のシステムを使い練習用配信を行う事でいざという時に備えています。</p> <p>館内で発生した事故については、職場全体で丁寧に振り返り、再発防止策について話し合い、改善策の徹底をはかっています。</p>
2-3-(2)	
利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	
【判断基準】	
<p>(a) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集し、要員分析と対応策の検討を行い実行している。</p> <p>(b) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集しているが、要員分析と対応策の検討が十分でない。</p> <p>(c) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集していない。</p>	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	<p>開室及び閉室時に、清掃と消毒を行っている。またその際には、施設点検及び遊具の点検等も実施し環境整備を行っています。</p> <p>地震や台風や大雪など自然災害があった翌日には、必ず施設点検を行い危険箇所や壊れている場所がないのか？など点検を実施しています。</p> <p>地震や悪天候等自然災害時の児童の留め置きや保護者への連絡、不審者対応及びケガ対応については、駒場児童館「危機管理マニュアル」に準じて対応を行っています。</p>